

平成 26 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ル フ ァ ポ リ ス  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 梶 本 雄 介  
(コード番号：9467 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 兼 管 理 部 部 長 大 久 保 明 道  
TEL. 03-6277-1602

**東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ**

当社は、本日、平成 26 年 10 月 30 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、  
なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添の  
とおりであります。

【単 体】

(単位：百万円、%)

項 目	平成 27 年 3 月期 (予想)			平成 27 年 3 月期 第 1 四半期累計期間 (実績)		平成 26 年 3 月期 (実績)	
		構成比	対前期 増減率		構成比		構成比
売 上 高	2,611	100.0	27.6	623	100.0	2,046	100.0
営 業 利 益	760	29.1	17.6	208	33.4	646	31.6
経 常 利 益	740	28.4	14.9	208	33.4	644	31.5
当期(四半期)純利益	476	18.3	21.1	136	21.9	393	19.2
1 株 当 たり 当 期 ( 四 半 期 ) 純 利 益	111 円 29 銭			34 円 12 銭		98 円 37 銭	
1 株 当 たり 配 当 金	0 円 00 銭			—		0 円 00 銭	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成しておりません。  
2. 平成 26 年 3 月期 (実績) 及び平成 27 年 3 月期第 1 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり  
当期 (四半期) 純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。  
3. 平成 27 年 3 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数 (675,000 株) を  
含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出し  
に関連する第三者割当増資分 (最大 168,700 株) は含まれておりません。  
4. 当社は平成 26 年 2 月 10 日付で普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を、平成 26 年 8 月  
25 日付で普通株式 1 株につき 200 株の株式分割を行っております。上記では平成 26 年 3  
月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しており  
ます。

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月30日

上場会社名 株式会社アルファポリス 上場取引所 東  
 コード番号 9467 URL http://www.alphapolis.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理部部長 (氏名) 大久保 明道 TEL 03 (6277) 1602  
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	623	—	208	—	208	—	136	—
26年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	34.12	—
26年3月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成26年3月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第1四半期の数値及び平成27年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。
2. 当社は、平成26年8月25日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成27年3月期第1四半期の1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,175	1,213	55.8
26年3月期	2,054	1,076	52.4

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,213百万円 26年3月期 1,076百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,611	27.6	760	17.6	740	14.9	476	21.1	111.29

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は、平成26年8月25日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益は公募株式数(675,000株)を含めた予定期中平均発行株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大168,700株)は考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	4,000,000株	26年3月期	4,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	－株	26年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	4,000,000株	26年3月期1Q	－株

- (注) 1. 当社は、平成26年3月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第1四半期における期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。
2. 当社は、平成26年8月25日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、期末発行株式数及び期中平均株式数につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、消費税増税により個人消費に弱い動きが見られたものの、政府の経済政策、日銀の金融政策効果から、緩やかな景気の回復基調が継続しております。

しかしながら、当社が属する出版業界は依然として厳しい状況が続いており、出版科学研究所によると平成26年上半年期の出版物の推定販売額は8,267億円となり、前年比5.9%減となっております。それに伴い、書籍の販売高は全体的には引き続き右肩下がりの状況が続いております。一方で、インターネット発の出版物は、引き続き好調であり、縮小する書籍市場内においても着実に成長することが可能となるビジネスモデルとして、市場の注目度は高まってきております。

このような環境の中、インターネット発の出版において、長年にわたるノウハウを持ち、出版化までのシステムが確立されている当社においては、当第1四半期累計期間の出版点数は75点となり前事業年度比24点増となりました。又、刊行の質においても発行1万部を超えるヒット作を安定的に数多く出版し、大幅な増収増益を達成いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は623,397千円、営業利益は208,711千円、経常利益は208,352千円、四半期純利益は136,492千円となりました。

なお、書籍のジャンル別の概況は次のとおりであります。

#### ①ライトノベル

男性向けの単行本ライトノベル作品の1タイトル当たりの実売平均が約1.7万部という高い売行きを見せ、業績を牽引いたしました。また、大人の女性のための恋愛小説レーベル「エタニティブックス」、新感覚ファンタジー小説レーベル「レジーナブックス」及び前事業年度に創刊した甘く危険なラブロマンスレーベル「ノーチェブックス」のいずれも、毎月堅調に一定のラインアップが刊行でき、かつ、売行きも好調に推移したことで、業績を安定的に下支えました。

#### ②漫画

当第1四半期累計期間に刊行した「ゲート」4巻も引き続き好調であり、業績を牽引いたしました。

#### ③文庫

男性向けライトノベルの文庫版として、当第1四半期累計期間に創刊した「アルファライト文庫」の滑り出しも好調であり、今後の業績の下支えが期待できる実績が挙げられました。

#### ④その他

当第1四半期累計期間に刊行した「居酒屋ぼったくり」が、各種メディアで大きく取り上げられたことで、本書提出日現在、発行部数4万部を突破し、当ジャンルの業績を牽引いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第1四半期累計期間の流動資産は、前事業年度末に比べ120,298千円増加し、2,150,847千円となりました。これは主に売上高の増加に伴う売掛金の増加（前事業年度末比144,315千円増）によるものです。また、当第1四半期累計期間の固定資産は、前事業年度末に比べ98千円増加し、24,229千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得（前事業年度末比125千円増）によるものです。

#### ②負債

当第1四半期累計期間の流動負債は、前事業年度末に比べ28,892千円減少し、842,862千円となりました。これは主に法人税等の支払いに伴う未払法人税等の減少（前事業年度末比100,208千円減）、及び売上高の増加に伴う返品調整引当金（前事業年度末比29,252千円増）、買掛金（前事業年度末比17,187千円増）、及び未払金（前事業年度末比31,139千円増）の増加によるものです。また、当第1四半期累計期間の固定負債は、前事業年度末に比べ12,798千円増加し、119,014千円となりました。これは全て、借入金の借換に伴う長期借入金の増加によるものです。

#### ③純資産

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べ136,492千円増加し、1,213,200千円となりました。これは全て、繰越利益剰余金の増加によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期においては、当社主力ジャンルとなるライトノベルの強化に加え、更なる業績拡大、及びポートフォリオ最適化の観点から、ライトノベル以外のジャンル拡大を図っていきたいと考えております。

その中でも、特に漫画の書籍市場規模は約3,700億円（注1）と、ライトノベル書籍の市場規模が約300億円（注2）であることに対して、市場として非常に有望であり、かつ、電子書籍との親和性も高いことから、電子書籍化

に対応する場合においてもスムーズな立ち上がりが期待できるため、最も注力して取組んでいきたいと考えております。

こうした取り組みにより、平成27年3月期は、売上高2,611百万円（前事業年度比27.6%増）、営業利益760百万円（前事業年度比17.6%増）、経常利益740百万円（前事業年度比14.9%増）、当期純利益476百万円（前事業年度比21.1%増）を見込んでおります。

- (注) 1. 出版科学研究所から刊行されている「出版月報」によると、平成25年の漫画書籍の市場規模は3,699億円。  
2. オリコン・リサーチから刊行されている「ORICONエンタメ・マーケット白書2013」によると、平成25年のライトノベルの市場規模は290億円。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	712,252	677,095
売掛金	1,189,469	1,333,784
製品	68,399	81,992
仕掛品	11,682	11,385
その他	48,744	46,588
流動資産合計	2,030,549	2,150,847
固定資産		
有形固定資産	1,477	1,602
投資その他の資産	22,653	22,626
固定資産合計	24,130	24,229
資産合計	2,054,679	2,175,077
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,436	73,624
1年内返済予定の長期借入金	71,040	59,908
未払金	216,601	247,740
未払法人税等	172,338	72,129
賞与引当金	10,521	18,496
返品調整引当金	312,814	342,067
その他	32,002	28,895
流動負債合計	871,754	842,862
固定負債		
長期借入金	105,226	118,024
繰延税金負債	990	990
固定負債合計	106,216	119,014
負債合計	977,970	961,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	1,066,708	1,203,200
株主資本合計	1,076,708	1,213,200
純資産合計	1,076,708	1,213,200
負債純資産合計	2,054,679	2,175,077

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	623,397
売上原価	188,204
売上総利益	435,192
返品調整引当金戻入額	312,814
返品調整引当金繰入額	342,067
差引売上総利益	405,939
販売費及び一般管理費	197,228
営業利益	208,711
営業外収益	
受取利息	21
中小企業倒産防止共済前納減額金	66
営業外収益合計	87
営業外費用	
支払利息	445
営業外費用合計	445
経常利益	208,352
税引前四半期純利益	208,352
法人税等	71,860
四半期純利益	136,492



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

当社は、出版事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。